



しいのみ たんぽぽ みず

クラスだより

～ 2026. 2. 27 円町まぶね隣保園 ～

寒い中でも、少しずつ春の訪れを感じられるようになってきました。日によって気温差もあり、体調を崩しやすい時期ですが子どもたちは戸外でも室内でも元気に過ごしています。

早いもので今年度も残りわずかです。引きつぎ、体調に気を付けながら1日1日を楽しく過ごしていきたいと思いをします。



しいの実

13日は制作展で子どもたちの作品や絵を見て下さりありがとうございました。入園してから、ペンを持つことも難しかった子どもたちがツールを見たり、ポットン落として好きな物を選んで入れたりとたくさんできることが増えてきました。持ち帰り、たのびにお家でも楽しんでお話を聞いたり、とても嬉しかったです。

せいかつ

- 日常の中で、子どもたちは自分でできることを無理なくやっています。
- ☆給食やおやつ、タオルを自分で選び取って拭き終るとくるくると丸める。
- ☆マークゴムのついた服をカゴから探して出す。
- ☆戸外に行く時に自分の帽子を持ってくる。(上着も)
- ☆靴を下駄箱から出してはこうとする。
- ☆おむつ交換の時、濡れたおむつをバケツに入れて新しいおむつを持ってくる。

年齢によってできることはさまざまですが、身の周りのことや、ちょっとお手伝いが楽しくなっているしいの実組の子どもたち。できたことやお手伝いに「できたね!」「ありがとう!」と声を掛けると嬉しそうに笑顔です。中にはお友だちの服を持って行ってあげたり、お友だちのおむつを捨てようとする子どもも... できることが増えて「できたね!」と共感してもらえ、自信が付き自己肯定感も高まっています。

お家でも「まだ小さいから...」とやっということが多いかと思いますが、できることは自分でやってみる。簡単なお手伝いをお願いして一緒にやってみるなど、お家の方とのコミュニケーションの一貫として取り入れてみて下さい。

☆。♡たんぽぽぐみ♡。☆

たんぽぽぐみで過ごした日々があつという間に過ぎていき、残りあと1ヶ月となりました。毎日一緒にあそんだり、生活をする中で少しずつ出来ることが増えました。今では出来たことが嬉しくて保育者の手伝いなくても着脱などを終えて「自分で出来たよ」とお話しています。

今月は13日に制作展がありました。それに向けて先月から「おべんとうバス」のおかずを1つずつ子どもたちと作っていました。制作をする中で、ポンドや絵の具など汚れることが苦手でも「どうする?もうおしまいする?」と聞くと「やる!」とほとんどの子どもが言っている姿を見て、楽しんでいました。食卓につけも自分でしたので、ブロッコリーの上におにぎりを置いたり、エビフライを立てて置いたり、面白く食卓につけが出来、おうちの方にも見てもらえてよかったなと思いました。また、今月は室内環境を変えてみて、子どもたちが過ごしやすいか様子を見ています。自分で好きなおもちゃを出して、友だちとあそびをしながら、または取りあい、ゆずり合いを経験しているところです。コーナー環境が出来たことにより、ままごとや病院ごっこを楽しんでいます。友だちと「いまあげますよ」「ちょっとまって」とやりとりをしながらあそんでいるのを見守っていると「せんせいもいっしょにやろ」と誘ってくれました。

* <出来ないが出来るになったよ> *

振り返ってみると、前は出来なかったことが今では出来るようになったなと感じることがあります。服やズボンを着がえるでは、いつもくつもらっている衣服のゴムをはずすことも難しかったのに今ではすぐに着がえてあそびに行きます。前後ろが反対になってしまうこともありますが、自分で着がえられたことを大切に考え、できたねと認めることでとても嬉しそうに笑っています。外に行く時には靴もはきます。靴の左右はまだ難しいようで反対になってしまうことも多いです。最近では口拭きタオルを使って食事後に自分で口を拭くようにもなりました。そして自分で汚れ物袋に入れようとするので、出来る時に「やってみる?」と声をかけて入れてもらうこともあります。一人ひとりの育ちのペースは違いますが、周りの友だちを見て、自分もやりたいと思ったり、手伝おうとすると「自分で!」と表現してきたりとそれぞれのペースで成長しています。

みずぐみ 昨日は制作展、見ていただきありがとうございました。

友だちと一緒に楽しい!!

4月当初はまだまだとかわかで見られた子どもたち。一人でじっくりと集中してあそぶ姿が多く見られましたが、今では友だちを求めて関わりながらあそぶ姿が増え、成長を感じています。距離が近くなると、お互いの気持ちの違から「やめて!」という声が上がったり言葉よりも先に手が出てしまったりする姿もあります。しかし、最近では「あそぶ言葉のやりとりが上手になり」「これ(おもちゃ)使ってる?」「あとで貸してあげるから待ってな」「一緒にしてもいい?」などの言葉が自然と聞かれるようになってきています。もちろん、まだまだ全てが上手くいく訳ではありません。友だちとの関わりの中で、相手の表情や言葉に敏感なから「自分とは違う気持ちがある」ということを今、学んでいるところです。友だちと一緒に楽しい気持ちを共有している時の子どもたちはとても生き生きとしています。そんな姿を見守りながら、一人ひとりの育ちを大切にしていきたいと思いをします。

おしらせ☆

- 2月からおやつ時の口拭きタオルをなくしています。
- 今までタオルで拭くことが習慣となっていた子どもたちは最初の七頁「衛生タオルないよ～」と探していました。しかし1か月経ち、汚れた手や口元を自分で手洗いはし易いように行って3つすることにも慣れてきました。初めは口元に汚れが写っていることもありましたが、今は鏡を見ながら正確に洗いきれいにしてもらう姿が見られます。かせ組に進級すると給食後やおやつ後の口拭きタオルはなくなります。
- 少しずつ慣れていく為に 3月～口拭きタオルをなくします。
- ※給食の献立によっては使用する場合がありますので1枚はロッカーに入れておいて下さい。
- ※引きつぎ、トイレ用のタオルは必要です。

今月の給食のお手伝いワッキング

- 玉ねぎの皮むき
 - えのきをほぐす
- 3つの玉ねぎをみんな協力して皮むきします。指先を使って矢の方をつまんでめくりますが茶色の皮をめくると、中には白い玉ねぎが...! 目で見て変化も楽しめました。「もっとやりたかった」と伝える子どももいました。
- 袋から出すと、えのきの匂いを感じられました。
 - 保育者が「こらや、やろよ」と見本を見せることで同じようにやってみる子どもたち。片手で持つ、もう片方の手でさくようにほぐしています。
 - 物を口に入れることも少なくなってきた
 - しいの実組の子どもたち、えのきを口に入らず
 - 夢中でさいて楽しんでいました。

終り、たら、みんな給食室まで「おてた、できたー」と持って行きました。給食室の先生たちとも顔を合あせることができて良い機会になっています。

